

令和 4 年 2 月 10 日時点

(1) 事務事業の概要		
① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 26 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	市の豊富な観光資源の魅力を全国へ向けPRするとともに、新たな観光資源の創出と旅行者および地元の農水・商・工業者等、関係団体との連携による着地型(体験型)観光の提案・実施により、多くの観光客の誘致を実現し、観光産業の振興と地域経済の活性化を図る。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
既存の事業では、対応できなかった市の観光資源を活かした事業の開発やPRを行う必要があると判断したため平成26年に事業を開始した。	観光物産協会や道の駅と連携して、宿泊や体験を伴う観光商品を開発していくことが可能となった。誘客に繋がる商品開発を積極的に行い、効果的で効率的なPRを行っていく必要がある。	観光物産協会が発行している「まっふる旭」のような、具体的な店名や場所の情報を提供して欲しいという声が多い。また、もっとCMや番組のロケ誘致を行って、旭市をより広く、多くの人に知ってもらいたいという声もある。

従事職員数	常時	2人	最大	6人	×	60日	=	延べ	360人
-------	----	----	----	----	---	-----	---	----	------

① 主な活動		③ 活動指標名	単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)
手段	2年度実績(2年度に行った主な活動)	ア	件	16	18	36	2	10
	・東京都商談会への参加 ・神奈川県を対象とした観光商談会への参加	イ						

② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標名	単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)
目的	対象意図 旭市を訪れる観光客 PRやキャンペーンの効果で増加する	ア	千名	2,104	2,079	2,111	1,649	1,894
	対象意図	イ						

①成果優先度評価結果		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい	①		
	普通			
	小さい			

②コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
成果優先度 評価結果	①	(1)		
	②			
	③			
	④⑤			
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

年度	ア
H29	2,100
H30	2,100
R1	2,100
R2	1,650
R3計画	1,900

評価内容	① 進捗状況													
	☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難													
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)													
	② 成果の状況													
	成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上	☐ 向上	☐ 横ばい	☒ 低下	成果比較	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度	
成果指標イ				☐ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下	29年度		30年度	1年度	2年度	3計画		
【コメント】 (低下の場合、その理由)														
新型コロナウイルス感染拡大により、緊急事態宣言による移動自粛のため。														
③ 今年度取組事項 (3年度に取り組む主な事項について記載)														
時期	内容						今後の方向性							
通年	・観光キャンペーンの実施・マスコミ等を利用した観光PR・観光誘致に結び付く特産品のPR・宿泊助成						☐ 拡大 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 廃止・休止 ☐ その他()						
								アフターコロナに対応した観光キャンペーンや、SNSなどを上手に利用した効果的な誘客の実施。						